

武雄市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画(案)【概要版】

デジタル技術やデータを活用して市民の利便性を向上させるとともに、行政事務の効率化を図り、サービスのさらなる向上につなげ、豊かで安全・安心な暮らしを実現します。

基本理念



暮らしやすさを実感でき、持続していく
スマートシティ TAKEO

背景と趣旨

近年のデジタル技術の進化は社会生活に大きな変化をもたらし、スマートフォンや高速通信は重要な社会インフラとなっています。しかし、少子高齢化や人口減少による社会的課題が深刻化し、地方自治体も社会環境の変化に対応しながら持続可能な行政サービスの提供が求められています。

武雄市においても、市民ニーズと『新しい日常』の構築を進めるため、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画を策定します。

計画の位置づけ

武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略や武雄市行政改革プランとの連携をはじめ、国が策定した「自治体DX推進計画」を反映させながら市民サービス向上や行政運営の変革を目指します。

武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

武雄市行政改革プラン
武雄市DX推進計画

各分野別の行政計画

計画期間

- ・2023年度(令和5年度)から2027年度(令和9年度)までの5年間
- ・社会情勢や国の政策、情報通信技術の動向等に応じ、適宜見直し
- ・見直しについては、PDCAサイクルを実施し、進捗状況や成果について評価



推進計画における基本方針

【基本方針1】 市民DX ～ 市民の暮らしを向上させるサービスの実現 ～

- ①行政手続のスマート化 ⇒ いつでもどこでもつながる市役所**
 - ・行政手続のオンライン化推進
 - ・オンライン案内サービス、書かない窓口サービスの導入と拡充
- ②デジタル福祉サービスの拡充 ⇒ 市民生活の質の向上**
 - ・高齢者のデジタル交流環境の整備
 - ・電子健康記録管理の導入
 - ・健康診断オンライン予約の導入
- ③公共交通と施設の利用最適化 ⇒ より便利に、より快適に**
 - ・マイクロモビリティとの連携など最適化
 - ・自動運転の研究
 - ・施設のオンライン予約、利用申込サービス導入
- ④デジタルディバイド(格差)対策 ⇒ 誰でもデジタルの利便性を享受**
 - ・市民向けスマートフォン教室、相談会の実施

【基本方針2】 地域DX ～ 地域課題の解決と新たな価値の創出 ～

- ①デジタルインフラの整備 ⇒ 次世代のためのデジタル基盤**
 - ・オープンデータの活用
 - ・キャッシュレスの推進
 - ・マイナンバーカードの利活用拡大
- ②デジタル技術を活用した教育の進化 ⇒ 優れた学習機会の提供**
 - ・ネットワーク環境の維持、向上
 - ・AIの利用促進
 - ・学校、地域でのデジタルリテラシー教育の促進
 - ・デジタルを活用した新たな教育環境の構築
- ③地域の産業活性化と起業支援 ⇒ 地域経済の活性化へ**
 - ・観光客の満足度向上と新たな価値創出
 - ・ドローンやIoT等デジタル技術の導入支援
 - ・データ分析による生産性向上やリスク管理支援
 - ・品質管理とブランド構築、販路拡大の支援
- ④防災力向上と災害時の支援迅速化 ⇒ 必要な情報をすみやかに取得**
 - ・デジタルによる情報収集、共有能力向上
 - ・防災アプリの利用促進
 - ・罹災証明交付等の支援迅速化

【基本方針3】 行政DX ～ デジタル技術を活用した行政事務の効率化 ～

- ①情報システム標準化・共通化 ⇒ 業務システムのコスト削減へ**
 - ・地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、標準仕様に準拠したシステムに移行
- ②業務プロセスの最適化 ⇒ 紙からデジタルへ**
 - ・文書管理システムを導入し、電子決裁を推進
 - ・窓口とあわせ、業務プロセスの見直しの実施
- ③AI・RPAの利用促進 ⇒ AIによる作業の自動化・省力化**
 - ・各業務の業務改革(BPR)の実施
 - ・効率化が見込まれる業務からAI-OCR(高度文字認識)やRPA(ロボットによる自動化)などの技術を導入
- ④デジタル人材育成と基盤強化 ⇒ 意識改革と安全な行政運営**
 - ・全職員向けのデジタル化及びセキュリティ研修の実施
 - ・コンピュータウイルス等による攻撃を想定した防護策の実施